

まなび・つなぎ・ひろげる
【令和元年度経営力支援・後継者育成研修会】
(開催報告)

1. 日 時： 令和2年2月1日(土) 15:00 ~ 17:00
2. 場 所： 静岡県産業経済会館 3階 特別会議室(静岡市葵区追手町44-1)
3. 参加者： 24名(受講者18名、行政2名、講師1名、事務局3名)

4. 結 果：

1) 概 要

本会会員の「経営力支援・後継者育成」を目的とし、標記研修会(企画：県木青連、共催：県木連)を開催した。

2) 内 容

主催者・事務局より挨拶後、県木青連 佐藤丈洋 氏(日本木青連 SDGS 委員会 委員)の司会にて講演等が進行した。

■【第1講座】「森と木をデザインするビジネス最前線～木材産業 SDGs ビジネスの可能性」

講師：(株)ユニバーサルデザイン総合研究所 所長 赤池 学 氏

「森と木」、「ユニバーサルデザイン」、「SDGs」をテーマとし、同所の製品開発・採用実績を中心に、今後のビジネス展開の可能性について言及された。

- ・「ユニバーサルデザイン(Design for ALL)」とは、「地球市民、子孫、先人、自然形態」と価値をシェアすることである。
- ・「ものづくりにおける21世紀品質」の開発において、従来の「ハードウェア、ソフトウェア」に「センスウェア(五感と愛着に基づく品質)」、「ソーシャルウェア(公益としての品質)」を加えた「4つの品質」が循環することが重要である。
- ・東北大学の研究結果によれば、「自然志向」の傾向が高いのは「高所得者層」であるため、この層が、木材産業にとってのビジネスターゲットとなる。
- ・「暮らしを豊かにする、人を健やかにする、社会を豊かにする」という3つの消費者視点から、優れた製品・取組事例を表彰する「ウッドデザイン賞」の審査委員長を務め、製品開発等の気運を高めている。

■【第2講座】「木材業界のSDGsと青年部活動について」

説明者：静岡県木材青壮年団体連合会 会長 鈴木 諭 氏(日本木青連 SDGs 委員会 委員長)

「SDGsの理念」や「木材産業におけるSDGs活用の考え方」等について解説された。

- ・「経済 or 社会 or 環境」から「環境⇄社会⇄経済」へと「パラダイムシフト」が求められている。
- ・木材業界は、「川上の環境合理性」、「川中～川下の経済合理性」が、上手くかみ合わず、ビジネスの障壁となっているため、「競争→共創」へ意識改革し、共通の目的に向かうことが必要である。

■【情報提供】「CSVビジネスについて」

説明者：(一社)CSV開発機構 専務理事 小寺 徹 氏

CSV(Creating Shared Value=社会的課題とビジネス上の課題の両方に対応するところで生み出され、企業の成功と社会の発展を結びつけるもの)を推進する実務家として、幅広い産業と連携事業に取り組んでいることが紹介された。

3) 開催の様子

※別紙「画像集」参照

「令和元年度 経営力支援・後継者育成研修会」

令和2年2月1日（土）於：静岡県産業経済会館「特別会議室」（静岡市）



「会場の様子①」



「会場の様子②」



「司会進行（県木青連）」



「主催者挨拶（県木連）」



「講師講演」



「講演の様子」



「情報提供～SDGsについて」



「情報提供～CSVについて」